

平成 27 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	サンフレッドみわ・児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市門屋字野崎95番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	17,343,771円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート(一部鉄骨)造2階建 ◇敷地面積:1,846.75㎡ ◇延床面積:674.92㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、図工室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場 ※障がい者センターと合築で事務室ほか共用部分あり		

●利用状況

		H27下半年期	H27上半期	H26 下半年期	H26 上半期	H25 下半年期
利用者数 (単位:人)	来館者数	7,840	11,019	8,954	11,041	8,416
	移動児童館利用者数	691	709	884	727	868
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	18	13	23	12	21
	開館日数(単位:日)	151	156	151	156	151

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長、常勤職員2人、非常勤職員1人。(児童厚生員は所長を含め4人) ③広報誌を毎月発行し、小学校・幼稚園・保育所・公民館・コミセンに配布、児童館ホームページを月2回更新、職員ブログの更新、ぶりあネットにリンク。 ④壊れたおもちゃについての苦情があり、直ちに修理を行った。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②おもちゃの消毒、玩具・遊具の毎月の定期点検 ③使用していない部屋の消灯とエアコンの停止の他、節水を実施。廃品を利用した工作。 ④専門業者による野外遊具の年1回の点検、遊具等の安全な配置と管理の検討。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については、指定管理者(本部)及び岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 ②消防訓練を1回実施。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	1. 平成28年2月 幼児クラブに参加の保護者にアンケート(無記名)を実施 回答者22人(回答率100%)
利用者アンケートの実施結果	○幼児クラブを知ったきっかけ(複数回答) 友人知人から17人、おたより2人、児童センターHP1人、館内の掲示4人、児童センターへ遊びに来て1人 ○職員について ・対応 満足12人、ほぼ満足10人 ○施設について ・使いやすさ 満足7人、ほぼ満足15人 ○意見等(幼児クラブについて) ・楽しく、毎回通いたいです。 ・参加できないかと思っていましたが、意外に参加出来て嬉しかった。 ・家ではなかなかできない遊びがうれしいです。等
利用者からの要望・苦情と対処・改善	○要望⇒回答 ・お弁当などが食べれる場所があると良いです。 ⇒食べ物アレルギーを持つお子さんにも安全に遊んでいただくため、ご用意しておりません。ご理解とご協力をお願いします。なお、水分補給場所としては、館内に数か所設けておりますのでご利用ください。 ・冬、加湿器があると良い。 ⇒各部屋に空気清浄機(加湿器)が用意しておりますので、ご利用ください。 ・1階におむつ替えのスペースが欲しい。 ⇒おむつ替え専用としてマットを1枚用意しておりますので、ご利用ください。 ・スーパーボールあそびなどを取り入れてほしいです。 ⇒ボールあそびのプログラムに組み入れていきます。 ・親さんが自分の子をみていなくて話に夢中になり、子ども同士がぶつかり倒れる子をみかけました。もっと自分の子には責任を持ってほしいので先生方にも多少厳しく伝えてほしいです。お母さん同士が話して子どもさんを放置している方が気になります。 ⇒できる限り声掛けに努め、子ども同士で楽しく育ちあう場にしたいと思えます。ご理解とご協力をお願いします。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
	区分評価					A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
	区分評価					A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	利用者に対する声掛けやあいさつを心がけ、楽しく遊ぶことが出来るように取り組んだ結果、利用者の方々も笑顔で返していただいているので、よかったのではないかと思います。 環境設営にも注意をし、衛生面にも気をつかい、よりよくすごしてもらえたのではないかと思います。 今期は、コミュニティーワークとして、児童の冬休み中に、併設する障害者センターの障がい者と児童・幼児がコミュニケーションを図る”おもちつき”を企画し実施しました。おもちをつく際に、掛け声を掛け合い、双方にとって充実した時間を過ごすことができました。
前回までの意見を踏まえた取組み状況	夏休み中に好評だった、パズルチャレンジ、ソリティアチャレンジを続けてほしいという要望を取り入れて、継続して2月まで実施しました。 また、マンカラやドミノ仕掛けなど一般に流行しているおもちゃも取り入れて来館しやすい状況をつくりました。 友達作りにも取り組み、所属校に関係なく一緒に遊ぶことが出来るよう積極的な支援を行いました。
今後の取組み	季節的な要素を取り入れた取組みや、おもちゃの見直しをすると共に、友達と一緒に遊ぶ楽しさを知る、友達作りを重視した取組みをしていきたいと考えています。 子どもたちで遊べる力をつけ、寛容性と社会性を育てていきたいと考えています。 行事では子供の発想を大切に創作活動の取組みに力を入れていきたいと考えています。

●所管課の意見

<p>児童センターの「おたより」を担当校区全児童へ毎月配布するほか、幼稚園、保育所、公民館、コミセンなどにも配布している。また、ホームページを月2回更新するなど広報活動を積極的に努めている。</p> <p>児童を対象に、原子に見立てた手芸用のデコレーションボールを繋げ合わせ、分子の構造を学びながらアクセサリーを製作する「分子小僧を作ろう」や、トイレトペーパーの芯を利用して「雪の結晶」を作成するなどの科学を学びながら行う工作活動や、幼児を対象に、子供を色スタンプ台に乗せ、紙の上で歩かせて出来た足形を利用してひな飾りを作成する「足形おひな様」などの行事を行った。</p> <p>冬休み期間には併設する障がい者センターとの共同開催で餅つき大会を行い、児童センターと障がい者センターの利用者との交流を図るなど、施設の特性を活かした行事を実施している。</p> <p>職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われている。</p>

●指定管理者評価委員会の意見

<p>障がい者センターと併設した児童センターであるという特性を活かした交流行事として、上半期は「ランチボランティア」、下半期は「餅つき大会」などを行っているが、今後も児童センターを利用する子ども達と障がい者センターの利用者との交流を図る事業を積極的に実施していただきたい。</p> <p>児童センターを利用する母親に対し定期的に利用者アンケートを行っているが、今後は児童にもアンケート等により意見を聞くなど要望を分析し、満足度向上、利用促進に努めていただきたい。</p> <p>管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
